

滋賀大学生協 大津キャンパス 湘南学園れもん会社コラボ企画



[組合員交流]

取り組み概要

日時：7/1, 7/3, 7/5 12:00~12:50
場所：滋賀大学大津キャンパス購買前
参加者数や組合員の反応：延べ101人が商品を購入、81人が学生委員の作成した短冊を使用して願い事を書いていた。

概要：「れもん会社」で販売されている商品を購入前で販売し、企業の取り組みを組合員に紹介した。また、七夕の時期に近かったため、組合員に願い事を書いてもらい、組合員の声を集めた。

総代会や地域とつながりを

POINT.1

地域の福祉施設と協同



滋賀大学大津キャンパス近くにある、湘南学園が運営する就労施設「れもん会社」の商品を販売し、その福祉事業を組合員に紹介しました。このれもん会社販売企画は毎年行われており、大学と地域の交流を生協学生委員会から図るものです。また、企画を行うことによって障害のある方が働くことを通して自立する一助になればという目的をもとに行いました。

また七夕の時期に企画を実施したため、販売場の隣で願い事を書くスペースが用意されました。願い事を書くための短冊はれもん会社の方にも作成してもらい、販売企画にとどまらない協同がありました。

POINT.2

総代会議からつながる企画に

総代会に関連した企画(総代会議)にて、れもん会社のクッキーを総代会が試食し、どのクッキーが良かったかアンケートを取りました。販売企画では、上位3種類のクッキーを販売しました。

生協に対して出た組合員の意見ではなくとも、組合員の声を生協が行う企画に反映させることで、総代会議を通じて組合員が生協運営に携わることができました。



POINT.3

組合員の声を聴く機会にも



企画実施の時期が七夕に近かったという背景もあり、組合員に願い事を書いてもらい、季節を感じつつ組合員の声を集める機会へとつなげていました。

願い事には、普段生活している中で出てくる願いが書かれたり、生協に対しての要望が書かれたりしました。また、組合員が書いた願い事を別の組合員が見て、「分かる！」や「めっちゃそう思う！」などの声を上げており、短冊によって組合員同士の思いを共有することができました。